

市議会だより

編集 議会だより編集委員会

発行 豊明市議会事務局(0562-92-1121)



星城高校
男子バレーボール部
2年連続3冠達成!!

1月18日、豊明市役所本庁舎前駐車場にて星城高校男子バレーボール部全国大会2年連続3冠達成を祝う会が開催されました。



平成25年 12月定例月議会

..... あんない

一般質問 (13名)	P 2 ~ P 8
2月緊急議会	P 8
議員研修会	P 10

一般質問

個人質問

平成25年12月定例会月議会において13名の議員が市政について質問しました。その主な内容は次のとおりです。

《早川 直彦》

豊明市内の住宅開発・豊明インター周辺の開発について

問 『市政改革の会』は榎山台と勅使台に、住宅開発に関する住民アンケートを実施した。両地区で多数を占めた回答は、街並みがきれいで整備されているであったが、勅使台では交通の利便性が悪いという意見もあった。①今後の住宅開発で目指すべき視点は何か。②都市マスタープランで物流ゾーンに指定されている南部地区に、複数の企業から問い合わせが来ていると聞く。企業進出についての現状や今後の南部開発の方向性は。③豊明市に限らず、人口減少時代に入る。この社会情勢の中で本市が目指す方向は、まちの活力を生み出していくことが不可欠となっており、市外から移り住んでいく場所の確保が必要と考える。今後、

そのハード面の住宅施策、そのほかに子育て施策、教育施策、福祉施策等多くのメニューをそろえて総合的に実施していきたい。②豊明インター周辺の恵まれた立地条件から、窓口レベルでは多くの相談や問い合わせがあるが、業種等詳細は把握していない。方向性としては、議会や地権者等の意向を見極めながら、長期的な視野に立って都市づくりの目標と合致した方向性を見定めたい。

大地震における防火対策について

問 25年5月に本市の地震被害による建物火災は600棟と想定された。①対象地域の消火訓練実施や避難時の電気ブレーカー遮断などの周知を検討しては。②発災後の古い木造住宅の漏電による火災を防止するため、地震感知式の遮断器設置の推奨や補助の考

えは。

答 ①避難する際のブレーカーの切断については、地域で行う防災講演会等で、パンフレットを利用し啓発しているが、現在、「南海トラフ巨大地震に備える10カ条」を作成中であり、それを含めて広報していきたい。②古い住宅への備えは、電気事業者や住宅施工者が普及促進を図ることとなるが、自治体によっては補助制度を実施しているところもあるので、今後研究していきたい。

《近藤 善人》

学校給食について

問 建設から40年ほど経過した栄・中央調理場は、老朽化が進み維持管理が難しく、更新時期を迎えている。児童生徒に安心安全な給食を提供するには大規模改修か建て替えが必要。①学校給食衛生管理

の強化は。②食物アレルギーへの対応は。③食器の変更は。④余裕教室でのランチルームの設置の考えは。⑤食育・地産地消について。⑥単独調理校方式について。

答 ①ウエット式の調理場であるが、調理場内を一日中乾燥した状態に保つことで汚染を防ぐドライ運用を、平成15年度より行っている。②県の「学校給食における食物アレルギーの手引き」に基づき月に一度の説明会を実施し、代替食を出し、献立表にもアレルギー源を表示している。③現在は、ポリプロピレン製食器を使用している。磁器製の導入は、食器洗浄機等設備の買い替えも必要となり、施設の老朽化も含め検討していく。④異学年交流に有効と思うが、教室の構造等の問題もあるので、研究していきたい。⑤旬な豊明産の食材は、米、鶏卵、里芋、ジャガイモ、ミカン、柿等、賄材料費のうち約14%である。⑥コスト面、施設整備面、職員配置等を比較検討すると、現段階では共同調理場方式がよいと考える。

インターネット依存について

問 韓国で86時間不眠不休でオンラインゲームをやり続けた末に死亡、携帯電話の操作に夢中で小学生が駅のホームから転落、安易なLINE登録による犯罪やいじめも多発している。ネットに関するさまざまな事件やいじめの新聞記事が毎日のように掲載されている。学校に持ち込みLINEをしていいるというようなことも耳にする。①本市の現状と対策は。

答 ①携帯電話やスマートフォンに限らず、学校に不要なものを持ち込まないように指導している。対策としては、県警と連携し、学校で情報モラル教育を実施しており、家庭にも購入時にフィルタリングをかける、使用時間、使用方法のルール作りをする等をお願いをしている。



《藤江 真理子》

子育て支援の柱を明確にし、もっとPRを

問 ①女性が働きやすい環境の充実（ニーズに応じた延長保育拡大・放課後児童の居場所等）を子育て支援の柱とし、受益者負担を基本にサービスメニューを増やすべきでは。

②子育て支援策を総合的一覧に示し、市内外へ積極的PRを。

答 ①若い世代が豊明に住んでいただくことで、まちの活性化、元気につながっていく。お母さん方が子どもを安心して預けて働くことが一番大事であり、今後、そういった計画をつくっていききたい。②子育て支援センターで作成した子育て情報誌を手渡しなどしているが、駅で配ったり、不動産屋で家探しの人に配布する等を考えていきたい。

市民の力を引き出す「花いっぱい運動」を

問 ①環境美化を目的とした現在のアダプトプログラムに花植え活動も認めては。②本市が目指す「花の街とよあけ」

の具体的なイメージと、市民の意識向上につながる施策は。

答 ①フラワーボランティアの制度があるので、ぜひ登録をいただき、制度にのっとった場所以外への植栽については検討したい。②都市景観、まちの景観は非常に大事と考える。財政状況もあるが、計画づくり、景観条例づくりの際は、花に関する諸施策も盛り込んで考えていきたい。

若者対象に豊明未来図コンテストの開催を

問 市民の、特に若い人たちの行政への参画を進める一つの仕掛けとして、若者自身が『豊明未来図』を描く、つまり「もし自分が市長だったら」をテーマに、個人や団体から提案型プログラムを募り、発表するコンテストを公開の場で開催しては。

答 将来のまちづくりへの参画意識を高めるよききっかけにもなるが、優秀提案であっても実施できないことも想定される。第5次総合計画の策定にあたり、学生など若い方々、多くの市民にかかわっていただき、たくさんの方の意見を

聞いて策定していきたい。特に市民の方に決めていただけるような情報を提供して、的確に判断できるようにしていく考えである。



《山盛 左千江》

消費税増税の市政への影響について

問 ①増税により、地方消費税交付金の配分率が上がるが、増収見込み額はいくらか。

②増収分は法の趣旨にのっとり、社会保障（福祉や子育て支援）の財源にするか。

③3%増税により、市の支払いは約1億3千万円増と見込まれる。施設等の使用料は値上げするのか。その影響額は。

答 ①現在、約6億強であるが、8%になると、約10億5000万円と想定される。実

質は、12月から入ってくることになる。②制度として確立された年金、医療、扶助費等の施策に充てることが国から義務づけられている。③平成26年4月の改正に合わせ、原則、消費税の引き上げ部分のみ改正を考えている。影響額は、調査中である。

「事業仕分け」のその後と効果について

問 ①仕分け結果を受けての25年度及び26年度の実施率は。

②不要・民営化となった2事業はどうするのか。

③仕分けは中止するようだが、今後の事業見直しの手法は。

答 ①25年度の見直し実施率は29%、26年度については、農村環境改善センターの見直し、中学生の海外派遣を教育委員会が検討している等である。②農村環境改善センターについては、利害関係者と話し、条例の廃止に向けて検討している。いきいきサービスについては、国の動向を注視しながら第6期の介護保険計画策定する段階で見直しを検討したい。③第5次総合計画に合わせ、行政評価の中で評

価指標の設定等を検討している。

介護予防の拡充と受け皿づくりを求めて

問 ①他市では予防に力を入れ、介護認定率を下げている。予防事業拡充のポイント。

②要支援の一部サービスが介護保険から外され、NPOの活用が期待される。支援策は。

答 ①介護保険の受け皿として、NPOやボランティアを育成していくことが重要と考える。②アンケート調査やNPO団体の聞き取り調査を実施した後に支援のあり方を考えていく。



《近藤 恵子》

学校防災マニュアルについて

問 ①各学校における作成状況は。②各学校の取り組みを進めるよう、また教職員が共通認識を持てるよう、教育委員会が核となって学校防災に取り組むべきではないか。

答 ①各学校には、災害時、地震、不審者等が侵入した場合等、それぞれの学校防災マニュアルがつくられているが、平成24年3月に文部科学省が示した手引きにのっとって作られているものは少ない。②各学校で取り組みにばらつきがあつてはいけないので、教育委員会としても指導していきたい。また、市としても地域防災計画見直しとの整合性を図る中で、対応マニュアル作成のための技術的な支援はしていきたい。

豊明市のシティープロモーションについて

問 市の魅力を見つけ、発信する場として、写真の投稿サイトを立ち上げてはどうか。市内の風景などのテーマを決

めて募集することで、身近な魅力に気づく機会ができるのではないか。

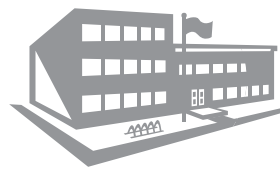
答 市民の方が、どういうところが豊明のよいところと考えているのかを知るとよい方法と考える。情報を共有することがまちの魅力となることもあるので、フェイスブック等を使うなど、前向きに検討していきたい。

社会保障制度改革に関する施策について

問 ①高齢者の独居や夫婦のみの世帯が急増することを見据えた施策を考えるためにも、独居の高齢者の実態調査を進めるべきではないか。②高齢者世帯の自立を支えていくためには、保健師の果たす役割は大きい。今後不足することが予想される保健師を確保することを考えるべきではないか。

答 ①今までの施設系の介護から、第5期介護保険計画のころから居宅介護が主流となってきたので、アンケート調査に介護者負担の項目を追加した。独居については、今後検討したい。②全体の人員計

画の中で、保健師の配置も考える必要があり、保健師に限らず、行政全般で人材が必要となる。今後は、指定管理等を活用して定員の範囲内で人材を確保していきたい。



《近藤 千鶴》

市の管理する施設の自動車駐車場の整備について

問 市の管理する施設は利用者の方が円滑かつ安全に利用できる自動車駐車場でなければならないと考えます。①自動車駐車場の現状について。②自動車駐車場の課題について。③自動車駐車場の今後の取り組みについて。

答 ①身障者駐車施設は愛知県の人にやさしい街づくりの推進に関する条例に従った台

数の確保に努めている。②市内の施設で問題のない施設もあるが、全ての公共施設が必要台数や表示看板などの整備を具備しているわけではない。③本庁舎は、耐震改修工事にあわせ、路面を平たん化させ、ラインの引き直しなども行い、利用しやすい設備とする考えである。今後は、他の施設も、いろいろな障がいの方が利用しやすい設備として、工事等があれば、設置に向けて検討していく考えである。

小・中学生のいじめ等についての対応対策について

問 小・中学生は友人のこと、進路についてなどさまざまな事で悩みの多い時期ではないでしょうか。児童・生徒の悩みが深刻になる前に対策が必要と考えます。①小・中学校でのいじめ対策等についての対応の現状について。②小・中学校でのいじめ対策等についての対応の課題について。③小・中学校でのいじめ対策等についての対応の課題について。④小・中学校でのいじめ対策等についての対応の今

後の取り組みについて。

答 ①常に学校が危機感を持って組織的かつ適切に早期発見、早期対応を行っている。②いじめや問題行動等を未然に防ぐ予防活動を行うことが大切である。③良好な人間関係を築くコミュニケーション能力をどう育てるか。いじめを許さない環境をどう作るか。人目につかないケースをどう防ぐか。また、教職員の力量の向上と家庭への啓発と連携も、課題である。④国が策定した「いじめ防止対策基本方針」をもとに市と学校がいじめ対策推進基本方針を策定中である。教職員が適切に対応できるように、県の資料を活用した研修の実施やLINE等の情報機器に関する研修会の実施も検討している。



《前山 美恵子》

平和行政の推進を求めて

問 本市は平和都市宣言決議を行い、平和市長会議にも加盟している。①市民にアピールするため、平和図書コーナーの設置など平和推進事業を積極的に行うように。②小中学生に平和を考える機会として広島・長崎等へ派遣する自治体もある。本市も平和教育推進を。

答 ①他市の取り組みを参考にし、広報への啓蒙記事の掲載や図書館へ働きかけ、平和コーナーの設置などを取り組みたいと考える。②教科書で学ぶより、百聞は一見にしかずと認識している。中学生の派遣等は、他市の状況や取り組みを調査したい。

若年者の2型糖尿病患者の予防対策を求めて

問 民医連の調査で若年者の糖尿病患者は重症化しやすく対策強化が必要。①食教育強化のため全学校に栄養教諭配置を。②若年者の健診体制強化を。

答 ①現在、4名で指導しているが、専門的指導は重要であり、栄養教諭等の増員を県へ要望していく。②健診による早期発見よりも、食育等の啓発が重要と考える。今後、食育等の推進と、35〜39歳健診の受診率の向上に力を入れていく考えである。

桜ヶ丘沓掛線道路工事のトンネル工法について

問 桜ヶ丘沓掛線道路工事は掘り割り式からトンネル工法となり、事業費3億円も高くなる。トンネルの必要性が薄い、トンネル工法にした理由は。

答 市民の皆様と協議し、従来の地形を極端に変更することなく、上部を活用でき、地域の方々の日常生活の変化を最小限に抑えることができるかと判断し、決定した。

生活保護は受給者の生存権を守る立場を求めて

問 生活保護法改定で保護が必要な人が締め出されないよ

うに。

答 本市では、口頭申請はなく、書類申請で受け付けている。申請の際は、相談に乗りながら、適正な対応に努めている。今後も、法に従い適正に対応することにより、手続きの詳細が示された段階で、内部で十分協議していく。



《川上 裕》

水害対策について

問 ①「豊明市総合治水対策基本計画」に基づきさまざまな施策を進めているが、排水路が不足している。排水路改修10カ所の目標の現状は。②東海豪雨以降においても、吉池地区にて大雨時の道路冠水、家屋浸水が多々発生している。現状と今後の対策は。③住民・地域の自己防衛も大事で、自主防災組織のあり方も含め土のう・吸水性土のうの支給方法等、行政の支援について。

答 ①24年度末までに7カ所事業化し、6カ所においては22年末で完了している。現在、1カ所を施工中であり、27年度末に完了予定である。このほかにも改修が必要な箇所があり、地元と調整を図り順次進めている。②基準降雨量を超える雨量に対応しきれない現状である。雨水流出遮断と冠水箇所の排水をバイパス処理する改善策を検証中であり、検証がまとまれば、来年度以降、実施の方向で検討していきたい。③土のう袋を支援することは可能であるが、ある程度地域での自己防衛は必要と考える。また、吸水性土のうをPRしていくことも可能である。

高齢者健康促進対策について

問 豊明市の高齢化率も進んでおり医療費も増えている。最近「歩いて暮らせるまち」SWCが注目を集めているが①特定健診受診率の現状、ウォーキングマップの利用者数の現状は。②高齢者のウォーキングに支障となる段差解消等の進捗状況は。③東部知多

温水プールの高齢者の利用者増を図る無料化はどうか。④市民温水プールの必要性についての認識は。

答 ①受診率は24年度43・8%であり、23年度より1・6%伸びた。ウォーキングマップは2600部配布済み。②一部の路線以外はほぼ全線にわたり、段差解消等のバリアフリー化されている。また、国・県道も、必要な箇所はお願いしていく。③現在、半額助成しており、本市のみ突出した助成は難しい。今後、構成市町と調整し、利用増加に努めたいと考える。④健康増進、体力保持に大変有効と認識しているが、新たな施設の建設は困難な状況である。



《一色 美智子》

子育て支援の充実について

問 ひとり親家庭の寡婦（夫）控除みなし適用の導入について。

答 みなし適用した場合の影響を個別に検証したところ、保育料が変更になる世帯は現在ないが、今後、原因や実情を把握し、導入について内部で検討していきたい。

地域包括ケアシステムの確立について

問 ①現状の分析と課題をどのように考えているか。②医療と介護の連携についての問題点と今後について。③24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護・看護サービスの取り組みについて。④地域ケア会議の設置・運営について。⑤地域力・住民力を生かした取り組みについて。⑥気軽に誰でも相談ができるよう、地域包括支援センターの愛称を考えることについて。

答 ①個別事例の地域ケア会議を起点に地域課題の抽出を行って、在宅医療、介護予防

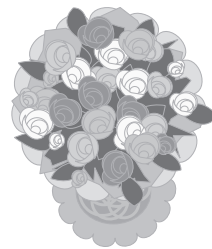
など、地域包括システムに位置づけられる事業に反映している。②相互の理解不足と地域医療の後方支援体制が未確立であり、「いきいき笑顔」を活用し、連携強化を図っていききたい。③モデル事業として取り組み、必要なサービスと認識しており、第6期計画で実施可能になるよう努力をしている。④介護保険計画の中でその活用について検討していきたい。⑤多職種間のメンバーで地域ケア会議を構成し、諸問題を解決したい。⑥親しみやすい愛称があれば、前向きに考えていきたい。

婚活支援について

問 少子化対策の一つとして豊明版「婚活」を支援してはどうか。①本市の状況の把握と対策について。②社会人流セミナー等の出会いの場の提供、開催について。③お出かけナイト等を利用して、街コンの開催について。

答 ①出会いの場は民間のサポートで行っていき、市としては、子育て支援の充実に注力していきたい。②市としては、開催を考えていない。プ

ライベートの関与であり、慎重に対応すべきこともあるが、支援については検討していきたい。③お出かけナイトを定期的に実施しているので、活用していただきたい。



《月岡 修一》

前後駅周辺のまちづくりについて

問 第2次豊明市都市マスタープランによると、多様な世代の市民が触れ合える交流機能を充実し地区内の道路形態を見直し、安心して歩ける環境を進めると明記されている。①どのような手法で中高層住宅の誘導を図るのか。②前後駅軌条のデッキ利用についての見解は。③前後駅周辺の道路を含めた全体的な構想はどのように検討されているのか。

答 ①マンション居住のニーズや、地権者意向の収集に努め、柔軟な情報提供や地権者の合意形成に向けた相談等に対応していく。②商業、サービス業の振興など、ソフト面を中心に取り組んでいきたい。③前後駅周辺でにぎわいを形成することは、民間の力によるところが大きい。市としては、引き続き、都市計画的なハードと産業振興的なソフトの両面からの視点で、快適で利便性が高く、人が行き交い、にぎわいのある駅周辺環境の形成に向けて検討していく。

民間学童保育所の支援について

問 太陽広場クラブとつくしクラブは共に資金難で運営に苦心している。①早急な援助が必要。②太陽広場クラブが借りている施設を安心して保育が出来る施設へとかえる援助が必要。③つくしクラブも現在の会場は勅使台区のご好意で活用させていただいているが、家賃の支払いが大きな負担となっている。現在の賃借料を市が負担すべきではないか。

答 ①市として両クラブの窮状は把握しているが、任意団体として自主・自立で事業を継続されてきたことに敬意を払い、今後も団体としての運営に対して最大限の自助努力をお願いする中で、話し合いを十分に行っていききたい。②団体の自主性を尊重しながら、側面的な協力はしていきたい。③民間児童クラブの窮状はよく理解しているが、現状の施設の継続利用や家賃減免については、団体として区や関係者に要望していただくことが一義的には必要かと考えており、その結果において、市が相談に乗っていくべきかと考えている。



《三浦 桂司》

旧阿野終末処理場の解体と市民税減税の優先順位は

問 旧阿野終末処理場は、インターネットでも豊明心霊スポットで検索できるようになっている。旧処理場の解体要望は大変強いものがあり、土地再利用を含め、結論を出すべき時期に来ている。豊明市の今後の方針は。またピアゴ前で行った市民税減税アンケートの結果は。

答 旧阿野終末処理場について、跡地利用方法が定まっていないので現状で管理しているが、地域の方の意見や風評も理解しているので、建屋だけでも撤去したいと考えている。先行的に行ったアンケートの結果は、簡単な集計しか出ていないが、15名中、実施すべきが4名、実施すべきでないが10名、判断できないが1名であった。

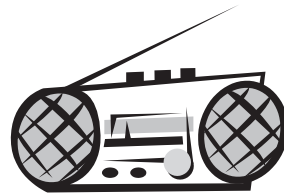
南海トラフ大地震・ゲリラ豪雨に備えて

問 ①災害発生時や予報のため、豊明市民に知らせる手法

として、市民配布型の防災ラジオ購入補助、同報無線の設置、市としてはどういう対策を考えているか。②紙ベースでの広報も必要と思うが、ゼンリンとの地図協定は考えていないか。③大震災にて同時火災が発生した場合、消防署はどこに駆けつけるのか。通報があった順番か。④災害弱者対策として災害時要援護者名簿を全市的に進めるにあたり、豊明市の考えは。

答 ①防災ラジオの導入については、各市町の導入している防災行政無線の仕組みと関係している。同報系無線の設置にかかる費用は概算で3億を超えるため、本市では導入を検討している段階であり、現状では防災ラジオの購入補助は考えていない。②そのような話があれば、ぜひお受けしたいと考えている。③限られた消防力を的確に配することとが初動体制では一番大事なので、点検、整備をして、市内各地の被災状況を把握したのち、人命救助を最優先として出動する計画を現在進めている。④災害時要援護者名簿の促進については、広報等により周知を図るとともに、整

備を進めてきたところである。今後は、区・町内会と情報交換しながら、名簿の整備に努めたいと考えている。



《堀田 勝司》

8月8日午後4時56分の緊急地震速報が発令された時の各施設での対応について

問 ①本庁舎・分庁舎・体育館・図書館・南部公民館等の出先機関、小中学校・保育園等各施設での実際にとった行動を聞く。②行動マニュアル通りできたのか。③各施設の利用者に対しての誘導はできたのか。大切なのは初期の対応をしつかりして、命を守ることだ。

答 ①②③市庁舎では、地震の警報を受信し、音声が開こえる範囲にいた職員の多くは身構えたが、庁舎全体に呼びかけはしなかった。緊急地震速報利活用の手引きに示された行動マニュアルは作成していない。コスモス児童館では、マニュアルどおりの行動がとれたが、他の児童館では速報に気づくことができず、対応できなかった。ほとんどの保育園では、個人の携帯電話が

一斉に鳴り、速報を知ることができ、日ごろの避難訓練での対応ができた。南部公民館、陶芸の館、勅使会館、文化会館では、休館日や利用者がいなかったため、特に周知はしなかった。福祉体育館では、直ちに館内放送を行った。小中学校では、当時は夏休み中で、3中学校で部活動を実施していたが、運動場で一時避難行動はとれなかった。図書館では、職員が大きな声で注意を促した。

豊明市の将来像をどの様に考えているのか質問する

問 ①単独で自立していくの

か。②市に無い施設は専用野球場・温水プール・陸上競技場・芝のサッカー場・敬老バス・養護学校・警察署・保健所・市営住宅・児童相談所・火葬場・市民病院・ごみ焼却場等だ。市民に我慢を強いるのか。③名古屋市との合併は考えていないのか。昭和30年の住民投票の結果で合併を考えないのは時代錯誤だ。他の合併を含めて住民投票するべきだ。

答 ①当面、単独で自立の道を進むことになるが、合併機運の高まりによっては、実施に向けて対応していきたいと考える。②今の時点では、広域の中で取り組んでいくという方向性が、現実には則したやり方ではないかと思う。③住民投票まで持つていくという考えはまだない。



《杉浦 光男》

将来を展望できる行財政運営について

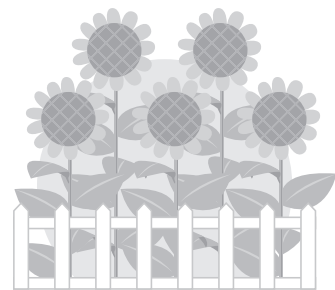
問 ① 税収の見込みも、その内容が明らかにってきていると思われる。その状況について。② 税収増が見込まれることを前提として、第4次総合計画、市長マニフェストとのかかわりの中で、その財源を中心に大きな行政効果の期待できる施策について。③ 市長は常々、魅力ある豊明、いところ再発見と言われるが市長の考えている、そのことは何か。④ 過去にある雑誌で全国805市区のうち、「住みやすいまち」1位に豊明市がランキングされた。しかし、住みやすさとイメージのよさは別だと考える。豊明のイメージアップ、売りの施策をつくって欲しい。その一つとして、人、係を役所内に位置づけることが重要だと考えるがどうか。⑤ 有利な社会的、地勢的特性を生かした豊明北部（香掛）の開発について行政での進捗状況は。

答 ① 現時点における平成25年度の見込みは、市税全体では前年度比2%増の100億

6000万円強の収入を見込み、約2億円の増収となる。

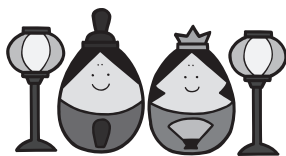
② 税収増を見込むことができれば投資的経費もふえ、より大きな効果が期待できる実施計画事業を実施できる。また、将来的な展望を考えれば、一斉に老朽化が進む公共施設への適切な投資が必要な状況である。今後は、そういったことを総合的に鑑みて、どのような施策が有効であるか決めていきたい。③ 施設の言えは藤田保健衛生大学や中京競馬場、歴史的に言えば桶狭間の古戦場、祭りで言えば大脇の梯子獅子、警固祭りなどがある。重要なことは、地域のコミュニティが残っているということ。④ 現在シティープロモーションを専門に担当している部署はなく、いろいろな課が協力してやっている。事務分掌規則の中にシティープロモーションに関する内容を、どこかに明確にしていくなが必要があると思う。⑤ 新年度において、都市計画の見地から、開発の必要性、地権者の意向に基づく開発の可能性、市財政に基づく開発可能な規模の検証といった観点から、開発区域、規模等の比較検討

評価を行いたい。



2月緊急議会

2月4日に2月緊急議会が開催され、議案16件、決議案1件を審議しました。



提出された議案

議案番号	議案名	可否決の別	賛成
1	豊明市消防本部の消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定	可決	19
2	豊明市有料自転車駐車場条例の一部改正	可決	18
3	豊明市手数料徴収条例の一部改正	可決	18
4	豊明市立公民館条例の一部改正	可決	18
5	豊明市文化会館条例の一部改正	可決	18
6	豊明文化広場条例の一部改正	可決	18
7	豊明市体育施設条例の一部改正	可決	18
8	豊明市福祉体育館条例の一部改正	可決	18
9	豊明市立小中学校体育施設スポーツ開放条例の一部改正	可決	18
10	正 豊明市総合福祉会館条例の一部改正	可決	18
11	豊明市休日診療所条例の一部改正	可決	18

条例

決議

豊明市消防本部の消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について

消防組織法の一部改正に伴い、政令で定める基準を参酌して、市の条例で定める必要があるため提出されました。

この条例では、消防長の資格及び消防署長の資格について定められました。

消費税法等の改正に伴う条例改正について

議案第2号から第16号までは消費税率等の改正に伴うものであり、消費税の課税取引に係る使用料等に転嫁されました。転嫁する額は消費税の増分のみで、基本的には、現在の価格に105分の108を乗じ、その額の10円未満を切り捨てて算出されています。また改正の施行期日である平成26年4月1日の前までの申請等に対する経過措置がとられているものもあります。（詳細については、担当各課でお尋ねください。）

2月4日の緊急議会本会議休憩中に豊明インター周辺活性化対策特別委員会が開催され、決議案第1号豊明インター周辺の活性化に関する決議が提出されました。本会議において、提案理由の説明の後、討論、採決が行われ、賛成多数により可決されました。

豊明インター周辺の活性化に関する決議

瀬戸大府東海線の栄町梶田交差点から花き市場方面・国道1号線への道路接続は長年の懸案事項である。

第2次豊明市都市マスタープランにおいても地区内の幹線道路の整備について、「（都）瀬戸大府線から花き市場へのアクセスを強化するために、道路と橋梁の整備を推進します」と明記されている。

当該道路は単に花き市場へのアクセス性向上のみならず、豊明インター周辺の土地利用を促進する上でも必要不可欠な非常に重要度の高い道路である。

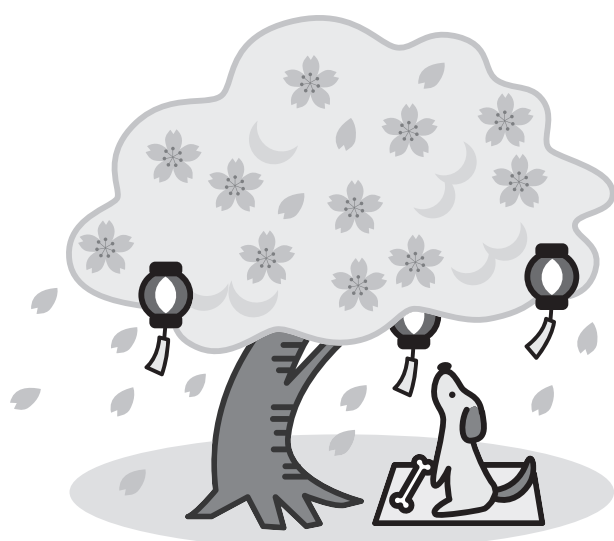
現在、豊明市議会に設置された豊明インター周辺活性化対策特別委員会において、当該地域の整備・開発に向けてさまざまな議論がなされているところであるが、どのような業態の企業が進出するにしても、当該道路の建設が最優先課題であると確認された。

当該地域の地主の皆様、あわせて阿野、大脇両区の区長様からも当該道路の建設について要望をいただいたところである。

これらの現状を鑑み、当市議会は当該道路の早期計画策定・実施を強く求める。

平成26年2月4日

愛知県豊明市議会



議案12	議案13	議案14	議案15	議案16	決議案1
豊明市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	豊明市農村集落家庭排水施設条例の一部改正	豊明勤労会館条例の一部改正	豊明市下水道条例の一部改正	豊明市有料駐車場条例の一部改正	豊明インター周辺の活性化に関する決議
2・4	2・4	2・4	2・4	2・4	2・4
可決	可決	可決	可決	可決	可決
18	18	18	18	18	14

議案等の審議結果

(全会一致でない議案等の賛否)

○：賛成 ×：反対

議案等番号	会 派 名		市 政 会										市政改革の会			公明党 市議団		—					
	議 員 名 件 名		川上裕	毛受明宏	近藤郁子	三浦桂司	平野龍司	平野敬祐	村山金敏	安井明	月岡修一	堀田勝司	伊藤清	藤江真理子	早川直彦	山盛左千江	近藤千鶴	一色美智子	近藤善人	近藤恵子	杉浦光男	前山美恵子	
議 案 2	豊明市有料自転車駐車場条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議 案 3	豊明市手数料徴収条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議 案 4	豊明市立公民館条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議 案 5	豊明市文化会館条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議 案 6	豊明文化広場条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議 案 7	豊明市体育施設条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議 案 8	豊明市福祉体育館条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議 案 9	豊明市立小中学校体育施設スポーツ開放条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議 案 10	豊明市総合福祉会館条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議 案 11	豊明市休日診療所条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議 案 12	豊明市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議 案 13	豊明市農村集落家庭排水施設条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議 案 14	豊明勤労会館条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議 案 15	豊明市下水道条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議 案 16	豊明市有料駐車場条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
決 議 案 1	豊明インター周辺の活性化に関する決議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	×	×	○	○



講師

北淡震災記念公園

野島断層保存館

副館長 米山 正幸 氏

演題

「野島断層からのメッセージ」

～震災といのち・

人とのつながり～

議員研修会

平成26年2月5日、豊明市役所において、豊明市と日進市の市議会議員による合同研修会が開催されました。



野島断層と阪神・淡路大震災についての講演を聞き、近所とのコミュニケーションの大切さや防災意識の重要性、家屋の耐震、住民への情報伝達方法の確立、災害に強いまちづくり、災害後のこころのケアの重要性について学びました。

議員研修会は、昭和60年度から始まりましたが、平成6年10月に日進市が市制を施行したことに伴い、平成7年度から2市合同による研修会を開催しています。